

ふしきがいっぱい（４年）「春がやってきた！」利用案

佐々木 昭弘：筑波大学附属小学校 教諭

【単元のねらい】

春の動植物の様子を観察する視点を明確にし、春の生き物に興味・関心をもって観察できるようにする。また、その変化の理由について、気温の変化とを関係づけて予想することができるようにする。

【番組の利用にあたって】

第４学年では、四季を通した動植物の成長を調べる活動を通して、動植物の変化と季節と関係づける能力を育てることになる。

そこで、本利用案においては、子どもたちに春の生き物たちの姿への興味・関心をもってもらうために、導入部分での視聴を基本とし、明確な視点をもって観察できるように配慮した。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
第一次 春の生き物を調べよう	1	<p style="text-align: center;">春になって、植物や動物たちの様子はどのように変わったろうか？</p>	
		<p>○春の動物や植物たちの様子について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬と比べると、葉っぱがたくさん出てきたよ。 ・冬には見られなかった昆虫も見られるようになった。 <p>◆『春がやってきた！』を視聴する。</p>	<p>◇３年生の時に学習した植物や動物の様子を想起させながら、予想できるように助言していく。</p> <p>◇どのように変化したのか、「量」「多種」「色」等の具体的な視点を必要に応じて教師がまとめ、観察の視点を少しずつ明確にしていく。</p> <p>■虫めがねの使い方 ▲小さな春みつけた？ ▲わたしの発見アルバム ◇ワークシートへの記録の仕方を、観察前に指導しておく。</p>
	2 ・ 3	<p>観察 1</p> <p>○春の森や校庭に出かけ、植物や動物たちの様子を観察し、ワークシートに記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな花が咲いているかな？ ・どんな植物があるかな？ ・どんな昆虫がいるかな？ ・どんな卵があるかな？ <p>○観察した結果を確認し、春になってどのように変化したのかまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫の数も増えてきたね。 ・種類も多いよ。 ・いろいろな芽が出ていた。 ・枝からたくさん葉が出て来た。 	<p>◇番組で扱われていた「花が咲いている植物」「春になって新しく見られる植物や昆虫」「動物の卵」等を観察の視点として確認してから観察させる。</p> <p>◇必要に応じて、下のクリップで観察したことを確かめさせる。</p> <p>■春の草花や木々 ■春のぞう木林の変化 ■春のぞう木林のこん虫 ◇子どもたちが観察した事実をもとに、「観察できる同植物の種類や数が多くなったこと」「活発に活動するようになったこと」に集約できるようにする。</p>
	<p style="text-align: center;">春になって、植物や動物たちの種類や数は多くなり、活発に活動するようになった。</p>	<p>○どうしてそのような変化が出て来たのか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物が増えたんじゃない？ ・日光が強くなったかな？ ・温度が高くなったからかな？ 	<p>◇冬と春を比べた時、どのような条件が違うか、自由に発表させながら予想させていき、『春の一日』での指導、続く「一日の気温と天気」の単元の指導につなげていく。</p>